

平成23年7月25日

広島大学大学院文学研究科

リテラ「21世紀の人文学」講座2011を開催

広島大学大学院文学研究科では地域社会連携活動の一環として、公開講座を、毎年開催しています。

今年度は（財）広島市未来都市創造財団、広島市との連携事業として下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

- 名 称 広島大学大学院文学研究科との連携事業
リテラ「21世紀の人文学」講座2011
司馬遼太郎を読む
- 日 時 平成23年9月17日（土） 13:30～16:30
- 会 場 広島市まちづくり市民交流プラザ北棟5階 研修室A B
（広島市中区袋町6番36号）
- プログラム
13:30～15:00
『菜の花の沖』を読む
講師：文学研究科教授 中山富広
15:00～16:30
「司馬遼太郎は「東北」をどう読んだか」
講師：文学研究科教授 河西英通
- 定 員 120名
- 受講料 750円

【お問い合わせ先】

広島大学大学院文学研究科
運営支援グループ 矢野 久美
TEL:082-424-6604、FAX:082-424-0315
Email:bun-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学大学院文学研究科との連携事業

リテラ「21世紀の人文学」講座2011

司馬遼太郎を読む

H23
9/17
(土)

13:30～15:00
15:00～16:30
(1日2講座)

会場：広島市まちづくり市民交流プラザ
北棟5階 研修室A B
(広島市中区袋町6番36号)

受講料：750円
(納付方法は別途通知します。)

※内容についての詳細は裏面をご覧ください。

近年『竜馬がゆく』『坂の上の雲』など、司馬遼太郎の作品が再び、注目を集めています。司馬小説の何が私たちを惹きつけてやまないのでしょうか。

そこで、この講座では、彼の作品をいくつか取り上げながら、司馬独自の歴史や文化に対する考え方、また日本人とは何ものなのか、についてみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

(広島大学大学院 文学研究科)

- 対象：高校生相当年齢以上の人
- 定員：120人(定員を超える場合は抽選となります)
- 申込方法：はがき(一人1枚)に、①氏名(フリガナ)、②郵便番号、③住所、④電話番号を記入し、下記の宛先へお申込みください。なお、電話・FAXでの申込受付はしていません。
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
(財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部管理課「司馬遼太郎」係
- 申込締切：平成23年8月31日(水)【必着】※抽選結果の発送は9月6日(火)頃を予定しています。
- 問合せ先：(財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部管理課
TEL(082)541-5335 FAX(082)541-5611
- 主催：(財)広島市未来都市創造財団、広島市

※申込みの際にお寄せいただいた個人情報については、広島大学と共有しますが、事業運営以外の目的には使用しません

1 『菜の花の沖』を読む

日時 9月17日(土) 13:30~15:00

講師 広島大学大学院文学研究科 教授 中山 富広さん

『菜の花の沖』は、高田屋嘉兵衛を主人公とした長編小説です。本講義は、嘉兵衛の生涯を追いながら、18世紀末から19世紀初頭の日露関係を考察し、司馬史観の魅力について語りしたいと思います。また、この時期には日本船がしばしばカムチャッカに漂着しましたが、ここではその一事例として川尻村(呉市)の久蔵を紹介します。

2 司馬遼太郎は「東北」をどう読んだか

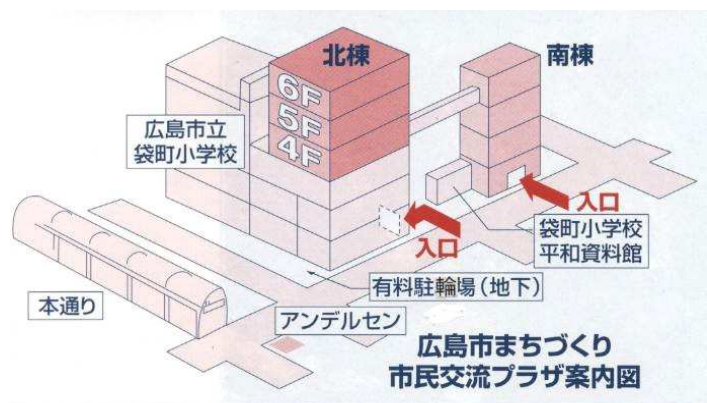
日時 9月17日(土) 15:00~16:30

講師 広島大学大学院文学研究科 教授 河西 英通さん

3月におこった東北大地震。司馬遼太郎が生きていたならば、どう論じたでしょう。関西出身の司馬の小説に東北をあつかった作品はあまりありませんが、対談や紀行文のなかの東北論は決して少なくありません。司馬が「東北」をどう読んだかを追跡しながら、これからの「この国のかたち」を考えてみましょう。

「リテラ」とは…「リテラ(Littera)」は、ラテン語で文学を意味する語で、英語の文学(Literature)の語源になっています。広島大学大学院文学研究科の公開講座等を開催する大講義室の愛称として採用され、文学研究科の開催する行事の名称に「リテラ」をつけているものです。

会場



アクセス

- 市内電車：袋町電停から徒歩約3分
 - バス：袋町バス停から徒歩約3分
 - アストラムライン：本通駅から徒歩約6分
- ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
※自転車・バイクの方は、地下に公共駐輪場(有料)がございます。